

**【特集】新型コロナウイルスに対するイスラエルの取り組みと
スタートアップ企業へのインタビュー**

イスラエルのコロナの状況とその対策、
スタートアップへのインタビューから現地のリアルな声をレポート



規制緩和によりテルアビブ市内のビーチに出かける人々の様子^[1] Credit: Moti Milrod

世界の国々が新型コロナウイルスの拡大防止に向けて試行錯誤を続ける中、イスラエルでは、感染者の減少に伴って、5月上旬から段階的な規制緩和が開始された。5月4日から図書館やホテルが、5月7日からショッピングモールなどに対して、営業再開が許可された^[1]。同国では4月末に感染者数の増加がピークを越し、以降は減少傾向が続いている(図1^[ii])。特に、5月10日には1日の新規感染者数が14人を記録し、過去2ヶ月における最小値を更新した。他国と比較しても、新規感染者数の減少は顕著であると言えるだろう。

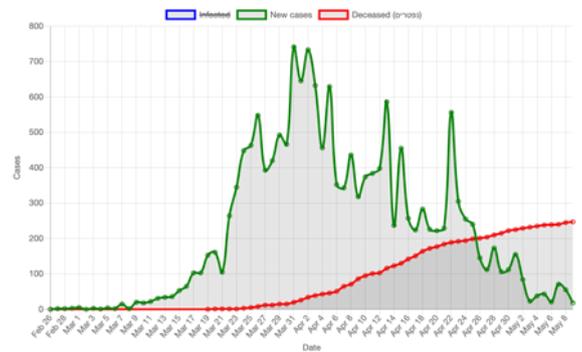


図1 日別の新規感染者数(緑)および累計死者数, Hanukoblu(2020)

近年、イスラエルは“中東のシリコンバレー”と呼ばれ、注目を集めている。300社以上の多国籍企業が拠点を構えているだけでなく、ハイテクスタートアップ企業が毎年1,000社近く誕生しており、連続起業家も多い。なぜイスラエルで数多くのスタートアップが誕生するのかについては諸説あるが、キーワードのひとつに“Sense of Urgency”というフレーズがある。日本語への直訳は簡単ではないが、「周囲の状況や変化を機敏に捉える」という意味合いを含む。本特集では、“Sense of Urgency”の一端に触れながら新型コロナウイルスに関するイスラエルの取り組みを紹介する。さらに、スタートアップ企業1社(Algaenovation社)に取材を行い、現在の状況や新たな市場機会、今後の事業戦略や展望を聞いた。

1. 帰国できず身動きが取れない自国民を航空機で救出

3月中旬、イスラエル政府は、南米ペルー共和国で身動きが取れない状態におかれていた自国民を空路で救出した。ペルーをはじめとする南米諸国は、イスラエルで兵役義務を終えた若者がバックパック旅行で訪れる人気スポットだ。しかし、3月15日のペルー大統領による緊急事態宣言発令に伴って、ペルー国境は封鎖された。イスラエルのHaaretz紙によると当時、現地にはおよそ1,000人のイスラエル人が出国できない状態に置かれていた^[iii]。



図2 南米から帰国したイスラエル人
(Credit: Tomer Neuberger/Flash90)

これを受けて、イスラエル政府は国営の航空会社であるエル・アル航空と連携し、航空機を現地に派遣し、3月20日までの5日間で1,000人以上の救出を行った。また同社は同じ時期、インドに取り残されているイスラエル人3,000人を救出するために航空機を手配している。

さらに2月には、日本の横浜港に寄港していたダイヤモンド・プリンセス号に乗船していたイスラエル人11名がイスラエル外務省のチャーター機で帰国した。このように、イスラエル政府は国外で身動きが取れない自国民に対し、積極的かつ素早く救援の手を差し伸べてきた。

2. 政府が1.8億ドル相当を民間企業の創業資金として援助

4月はじめ、イスラエル政府はハイテク企業を対象とする6.5億新シェケル（1.8億ドル相当）の資金援助を決定した。企業の研究開発促進を行うイスラエル・イノベーション・オーソリティー（略称IIA）から、創業資金として企業に提供される。IIAには2020年に入ってから4月時点で既に1,000件を超える申し込みがあったという^[iv]。このうち約400件はヘルスケアに関連する企業だ。



図3 IIAによるR&D計画の公募
(同機関HPより)

また、IIAはコロナウイルス感染症予防や治療に関するR&D計画の公募を行った（図3）。あらゆる分野の技術が対象で、事業が画期的で認可が下りた場合、R&D費用のうち最大70%の援助を受けることができる^[v]（応募は既に締切済み）。

次世代の栄養源となりうるマイクロアルジー（微細藻類）の生産技術を開発

Algaenovation 社は、栄養価に富んだマイクロアルジー（微細藻類）の画期的な生産技術を開発した。現在、イスラエルをはじめ、米国、アイスランド、ベルギーに拠点を構えている。同社の特徴は、オメガ-3 脂肪酸をはじめとする栄養価を豊富に含んだマイクロアルジーを、



完全に制御された屋内施設で生産する点だ。アイスランドの施設では、地熱と豊富な水源を利用することで高い持続可能性を実現した。衛生管理が行き届いた施設内では、マイクロアルジーの培養に必要な要素を緻密に制御しており（図 4）、24 時間・365 日いつでも出荷可能だ。今回は同社の CEO に取材を行った。



図 4 生産設備のイメージ
(同社 HP より)

「弊社が開発・生産するマイクロアルジーは、栄養価が非常に高く、水産養殖業や家畜の飼料から、健康サプリメントに至るまで幅広い用途で利用することができます。現在は健康食品市場の需要増加に注目しており、更なる進出を模索中です。弊社のマイクロアルジーをサプリメントとして服用することで、免疫力の向上が期待できます。自然由来な点もメリットです（同社 CEO）。」

感染症拡大の影響はあるが、一時的

同氏によると、感染症拡大によって同社の顧客企業が影響を受けているとのこと。「一時的なものではありますが、需要の減少が生じています。また、世界的に物流が停滞しているため、出荷が以前よりも困難になっています（同氏）。」



図 5 マイクロアルジーのイメージ
(同社 HP より)

予防医学の観点から、サプリメントの需要が増加すると予測

Algaenovation 社が現在最も重きを置いている事業が、健康食品市場だ。マイクロアルジーは、人体にとって不可欠な必須アミノ酸を全て含み多様な栄養素の直接摂取が可能のため、日常的に服用するサプリメントにも最適な素材であると同社 CEO は強調した。今後、日頃から免疫力を高めることで病気にかかりにくい身体を作るという需要が高まるという説明でインタビューを締め括った。

4. コロナ・タイムライン



※ 感染者数・死亡者数は共に新型コロナウイルス感染症に関する数値
 ※ イスラエル保健省やイスラエル政府プレスリリースなどをもとに作成

参考文献

ⁱ Prime Minister's Office, (2020, May 4). *Joint Prime Minister's Office and Health Ministry Statement* [Press release]. Retrieved from https://www.gov.il/en/departments/news/spoke_regulations040520 (Accessed 10 May 2020).

ⁱⁱ Hanukoglu, Israel. (2020, May 10). "Cumulative graph of COVID-19 cases in Israel". Retrieved from <https://www.science.co.il/medical/coronavirus/Statistics.php> (Accessed 10 May 2020).

ⁱⁱⁱ Sommer, A. (2020) '1,000 Israeli Backpackers Stranded in Peru Due to Coronavirus Outbreak to Be Flown Home', *Haaretz*, 17 March. Available at: <https://www.haaretz.com/israel-news/premium-1-000-israeli-backpackers-stranded-in-peru-due-to-virus-outbreak-to-be-flown-home-1.8685047> (Accessed 10 May 2020).

^{iv} NoCamels Team. (2020) 'Israel Approves \$180M Grant Package To Support Local Tech Industry', NoCamels.com, 2 April. Available at: <https://nocamels.com/2020/04/israel-innovation-authority-tech-coronavirus/> (Accessed 10 May 2020).

^v Israel Innovation Authority, (2020, March 17). *Call for Proposals for R&D Plans of Industrial Products for the Prevention and Treatment of the COVID-19* [Press release]. Retrieved from <https://innovationisrael.org.il/en/opencall/industrial-products-for-prevention-of-coronavirus> (Accessed 10 May 2020).